



平成24年3月30日

お知らせ

資料提出先：鳥取県政記者クラブ 米子市政記者クラブ

「日野川河川維持管理計画」を策定しました。 ～日野川の維持管理の考え方を具体化～

日野川・法勝寺川の国管理区間において、河川の維持管理についての具体的な内容を定めた「日野川河川維持管理計画」を策定しましたので、お知らせします。

今後は、この河川維持管理計画に基づき、引き続き、効果的・効率的な河川維持管理に努めていきます。

なお、本計画は、日野川河川国道事務所のホームページで御確認いただけます。
(<http://www.cgr.mlit.go.jp/hinogawa/>)

(参考)

河川維持管理計画は、河川管理上留意する必要がある河川特性、維持管理の目標、河川の状態把握の手法、頻度等、維持管理対策の基本的な考え方や具体的な内容等を記載したものです。

これまでも、河川整備基本方針等を基本に、「日野川河川維持管理計画(案)」を作成し、河川の維持管理を行ってきましたが、この度「日野川河川維持管理計画」として正式に策定することで、維持管理の考え方を具体化し、より効果的・効率的な維持管理に資するものです。

問 い 合 わ せ 先



国土交通省 中国地方整備局

日野川河川事務所

TEL 0859-27-5484 (代表)

副 所 長 川本 洋次郎(かわもと ようじろう)

工 務 課 長 稲若 孝治 (いなわか たかはる)



日野川河川維持管理計画の概要(基本的な考え)

日野川河川維持管理計画とは

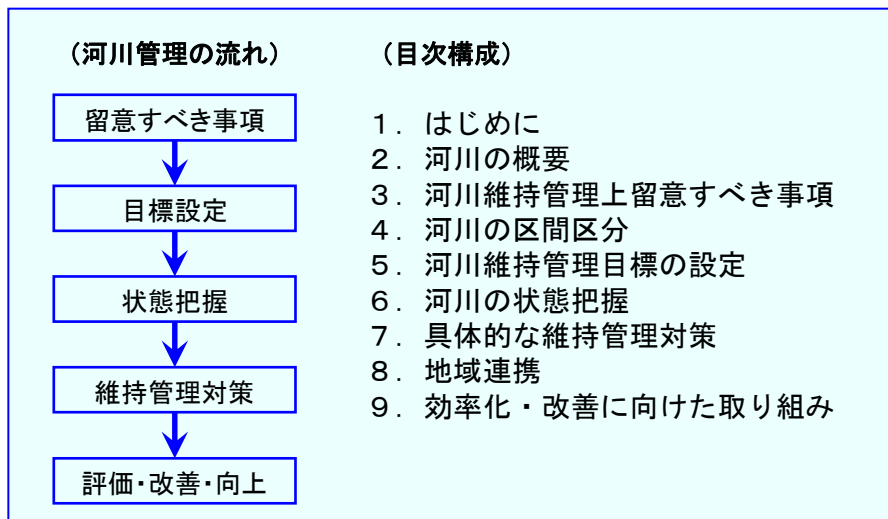
「日野川河川維持管理計画」は、日野川および法勝寺川の国土交通省日野川河川事務所の管理する区間において、河川の維持管理の目標を定めるとともに、その達成のために必要な対策および河川の状態把握方法などについて具体的な内容を定めるものです。

河川特性を踏まえたサイクル型維持管理の推進

維持管理の実施にあたっては「サイクル型維持管理」に取り組むこととし、目標設定、河川の状態把握、維持管理対策等について計画した維持管理計画を実施後、逐次評価・改善し見直しを行うことで効率化、高度化に努めます。

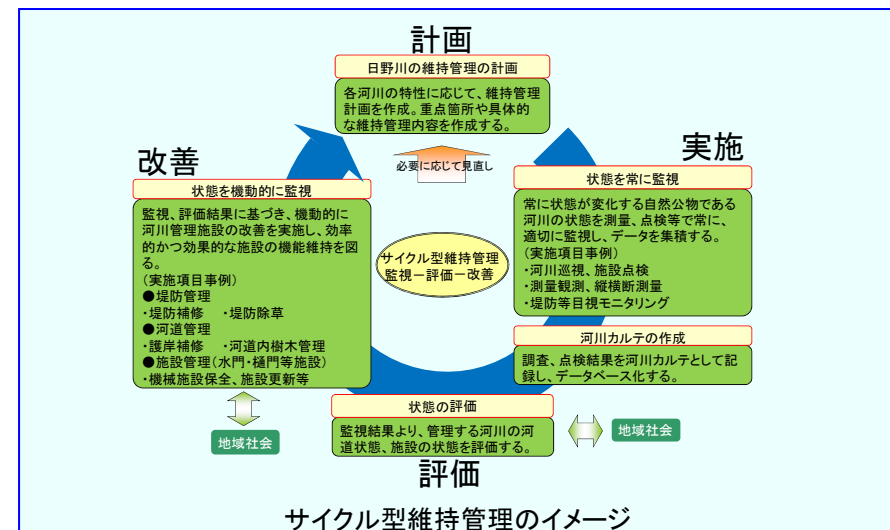
■日野川河川維持管理計画の構成

河川特性を踏まえた河川維持管理目標を設定し、その達成のために必要な河川の状態把握を行い、その結果により適切な維持管理対策を実施するという実際の河川管理の流れに沿って構成。



■サイクル型維持管理の推進

目標設定、河川の状態把握、維持管理対策等を繰り返し、それらの一連の作業の中で得られた知見を分析・評価して、河川維持管理計画あるいは実施内容に反映していくとともに、必要に応じて学識者等から助言を得ながら、効果的・効率的な河川維持管理を行う。





日野川の河川管理上留意すべき事項

1. 河口閉塞対策

河口では冬期の波浪によって砂州が堆積し、洪水時に河川水位の堰上げが懸念される。

2. 水系一環の土砂管理手法

流送土砂の激減による皆生海岸の侵食が発生しており、水系一環として砂防事業、河川、海岸事業の連携が必要。

3. 河道内樹林化対策

河床のアーマー化によるみお筋固定とともに、中洲が陸域化することで発達した樹木が水の流れを阻害

4. 河川環境の保全

日野川水系の多様な河川環境を形成している早瀬や淵、水際の保全が必要

日野川の維持管理目標

「日野川河川維持管理計画」として、以下の5点の目標を掲げる。

1. 河道流下断面の確保

これまでの河川整備により形成された現況の河道断面確保を目標とし、洪水時の流下阻害となる堆積土砂の掘削、樹木の伐採を行う。

2. 施設の機能維持

河川管理施設（堤防、護岸、堰、樋門など）の施設機能確保のため、点検、補修などの適切な維持管理や水文観測施設について保守・点検により精度が高く欠測無く観測できる施設機能を維持する。

3. 河川区域等の適正な利用

不法占用や不法投棄への監視、指導により河川区域の適正な利用が図られるよう、河川の状態把握と事案への迅速な処理に努める。

4. 河川環境の整備と保全

定期的な観測を行うとともに、生物、水質、景観等に対し良好な環境を保全する。

5. 良好な流送土砂環境の保全

関係機関と連携し、皆生海岸の侵食に対して、日野川流域からの土砂供給を確保し、良好な流送土砂環境を保全する。

河川の状態把握と維持管理対策

河川の状態把握

(1) 基本データの収集

現況流下能力の把握や経年データの蓄積や、雨量データ観測による洪水予測。
河川状況確認のための縦横断測量、環境調査など



(2) 堤防点検のための環境整備

堤防状態把握のための除草実施



(3) 河川巡視

平常時は河川の異常および変化を把握するため、定期的な巡視や目的別巡視を実施。
洪水時には洪水状況把握や平常時に変化が確認された箇所等重点巡視を実施



(4) 点検

毎年出水期前や台風期前に河川管理施設や排水ポンプ車等の点検を行い異常の有無を確認。また、出水中や出水後、地震後も各施設の点検を実施。大規模出水後には測量や航空写真撮影等による洪水前後の確認を図る。



(5) 河川カルテの作成

(6) 河川の分析・評価

維持管理対策

(1) 河道の維持管理対策

河道流下断面の確保としての河道の掘削や樹木伐採を行う。
また河口部に堆積する砂州は出水前にフラッシュのきっかけとなる一部掘削を行う。

(2) 施設の維持管理対策

巡視や点検の結果を基に、堤防、護岸、階段、魚道などにクラック等の変状が見られ、施設機能に支障を生じると判断される場合には補修を行う。
堰、樋門、排水機場等の機械設備、電気設備についても同様に施設機能に支障を生じると判断される場合には計画的に補修を行う。

(3) 河川区域の維持管理対策

不法行為の是正措置、適正利用のための注意、安全な河川利用のための補修や情報提供を行う。

(4) 河川環境の維持管理対策

自然環境や河川利用に係る河川の状態を把握し生物の生息・生育・繁殖環境の保全や整備を行う。

(5) 水防等のための対策

洪水などの緊急時の被害軽減、水質事故対応のため水防資材確保や関係機関との連携、自治体要請による排水ポンプ車の出動支援のほか、水位情報等の提供を行う。

対策の必要性を判断